

## 令和4年度 改善実施状況報告書【 教育 】

推進責任者： 宇佐川 毅

改善を要する点			改善計画	計画の実施主体	計画の実施状況	備考
年月	内容	根拠				
令和4年10月	【教育会議】 教育プログラム単位で定める3ポリシーの見直しや改正の際には、各授業科目における学修成果の相関性（○や◇）の部分も含めたカリキュラムマップ及びカリキュラムツリーの見直しを行うよう周知を徹底いただきたい。	「全学共通評価」における評価項目B-1の点検項目【ディプロマ・ポリシーで期待される学生層に向けた学修が行われるカリキュラム・ポリシーとなっていること。】	・3ポリシー改正の際、カリキュラムマップ、ツリーも併せて点検・見直しをすることの周知については、令和4年10月25日、教育会議の下に設置された「教育の内部質保証に係る教育総合評価の結果を踏まえた改善に関するワーキンググループ」において対応を検討した。 3ポリシーを見直す際は、カリキュラムマップ及びカリキュラムマップを点検する必要があることを明文化するため、「3ポリシー等を変更する場合のフロー」の一部改正案を作成し、第6回教育会議（令和4年11月8日開催）へ提案、了承された。 ・教育会議で了承されたことを受け、令和4年11月14日付けで各部長宛、及び大学教育統括管理運営機構長宛へ通知文を発送した。 ・今後も継続してワーキンググループにおいて、カリキュラムツリーのあり方や記載の内容について、点検や確認を行う予定である。	教育会議	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	3ポリシーを見直す際の、カリキュラムマップ及びカリキュラムマップ点検を周知する通知文書（令和4年11月14日付発行）に加え、カリキュラムツリーのあり方については、第4回教育会議ワーキング・グループ（令和4年11月30日開催）において検討し、第7回教育会議（令和4年12月13日開催）へ提案、了承されたことを受け、令和4年12月20日付けで、各部長宛へ点検・確認の通知を発送した。
令和4年10月	【教職総合センター】 同一名称の授業科目における成績評価の共通の理解を図るよう、教職課程における実施体制を検討いただきたい。	「教職課程評価」における評価項目F-3の点検項目【成績評価に関する共通の理解が構築されていることを確認していること。】	・令和4年12月2日開催の第4回教職総合センター教職運営委員会において、改善の提案を受け、対応について審議した結果、以下のように改善に向けて取り組むこととした。 ・複数の教員が担当する同一名の授業を複数クラスで開講する場合、成績評価を含めたシラバスの統一について「改善を要する点」として指摘があったことから、同一名の授業科目を担当する教員によるシラバス内容の検討会を開催し、その結果を令和5年2月末までに本委員会に報告することを依頼する。 検討会の結果を踏まえ、必要に応じてシラバスの共通化を依頼することとし、他の検討事項があった場合は本委員会にて令和5年度に審議を継続することとする。	教職総合センター教職運営委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	シラバスの検討会を実施するにあたり、教職に関する科目の現行のシラバス全てを確認したところ、同一名の授業シラバスで差があったのは特定年度の教員に多く見られたため、当該年度の教務委員長へ検討を依頼した。 シラバスの評価方法の統一については次年度以降審議を継続する。
令和4年10月	【文学部】 点検項目の中で、当該部局の適切な委員会で確認を行ったことが読み取れるエビデンスの提出がなかったため、関係する委員会等の議事録の整備を徹底いただきたい。	「学位プログラム評価」における評価項目F-4の点検項目【授業科目ごとに学生に対して成績評価の基準について学生が理解していることを確認していること。】	自己点検・評価項目について、関係する委員会等の議事録の整備をおこなう。	文学部教務委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	文学部では、令和4年10月28日付令和4年度教育の内部質保証に係る教育総合評価の結果に関する通知を受理後から、各委員会の議事録の整備を行った。
令和4年10月	【文学部】 点検項目の中で、当該部局の適切な委員会で確認を行ったことが読み取れるエビデンスの提出がなかったため、関係する委員会等の議事録の整備を徹底いただきたい。	「学位プログラム評価」における評価項目F-17の点検項目【【教職課程】成績評価に関する共通の理解が構築されていることを確認していること。】	(学位プログラム評価：F-4の同「改善計画」に記載のとおり)	文学部教務委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	(学位プログラム評価：F-4の同「備考」に記載のとおり)
令和4年10月	【文学部】 点検項目の中で、当該部局の適切な委員会で確認を行ったことが読み取れるエビデンスの提出がなかったため、関係する委員会等の議事録の整備を徹底いただきたい。	「学位プログラム評価」における評価項目F-18の点検項目【【教職課程】教員の養成の目標の達成状況（学修成果）を明らかにするための情報の設定及び達成状況を確認する。】	(学位プログラム評価：F-4の同「改善計画」に記載のとおり)	文学部教務委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	(学位プログラム評価：F-4の同「備考」に記載のとおり)
令和4年10月	【文学部】 点検項目の中で、当該部局の適切な委員会で確認を行ったことが読み取れるエビデンスの提出がなかったため、関係する委員会等の議事録の整備を徹底いただきたい。	「学位プログラム評価」における評価項目G-1の点検項目【標準修業年限内の卒業（修了）率、標準修業年限×1.5年内卒業（修了）率等を確認していること。】	(学位プログラム評価：F-4の同「改善計画」に記載のとおり)	文学部教務委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	(学位プログラム評価：F-4の同「備考」に記載のとおり)
令和4年10月	【文学部】 点検項目の中で、当該部局の適切な委員会で確認を行ったことが読み取れるエビデンスの提出がなかったため、関係する委員会等の議事録の整備を徹底いただきたい。	「学位プログラム評価」における評価項目G-2の点検項目【資格等の取得状況を確認していること。】	(学位プログラム評価：F-4の同「改善計画」に記載のとおり)	文学部教務委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	(学位プログラム評価：F-4の同「備考」に記載のとおり)
令和4年10月	【文学部】 点検項目の中で、当該部局の適切な委員会で確認を行ったことが読み取れるエビデンスの提出がなかったため、関係する委員会等の議事録の整備を徹底いただきたい。	「学位プログラム評価」における評価項目G-4の点検項目【就職率、就職先、国家試験合格率、進学先の状況を確認していること。】	(学位プログラム評価：F-4の同「改善計画」に記載のとおり)	文学部教務委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	(学位プログラム評価：F-4の同「備考」に記載のとおり)

改善を要する点			改善計画	計画の実施主体	計画の実施状況	備考
年月	内容	根拠				
令和4年10月	【教育学部】 学生の学修成果の達成状況について、直接評価の観点から確認していることが認められないため、適切な委員会において確認することを求める。	「学位プログラム評価」における評価項目G-5の点検項目【学修成果の達成状況について直接評価の観点（ASOを活用した成績状況等）から確認していること】及び点検手順【ASO及びASOから抽出したデータ等をもとに学生の学修成果の達成状況について確認する】	令和3年度の教育学部教育・研究活動推進委員会が、本項目に関して令和3年度の改善実施報告書に記載した「学生の学修成果の達成状況についての直接評価は、令和3年度の成績に基づき、各講座単位で行い、必要な学生指導を行ったかの記録を含めて、令和4年度の教育・研究活動推進委員会に報告させ、委員会で適切な対応が行われたかを確認する」という手順に従って、各講座がASOやASOから抽出したデータ等をもとに学生の学修成果の達成状況について確認していることについて、令和4年度の委員会において、令和4年12月までに確認作業を行う。	教育学部・教育学研究科 教育・研究活動推進委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	改善計画の通り、令和4年11月30日開催の第6回教育・研究活動推進委員会において確認作業をおこなった。
令和4年10月	【進路支援委員会】 企業説明会等の実施状況は確認できたが、具体的な参加企業の業種や、参加学生の数や所属学部、また、実際にどの程度それらの企業に就職しているか等の情報が確認できなかったため、より戦略的な就職支援につながるよう、情報の収集、分析等の工夫を検討いただきたい。	「教育総合評価」における観点I-4【就職支援の在り方】	令和4年12月の進路支援委員会において、改善の提案を受けての対応について審議した結果、企業説明会等の実施主体である就職支援課において、実際に就職に繋がることが想定される「学内企業説明会」及び「熊本県企業合同説明会」について、以下の情報を2月中旬を目途に収集・整理することが了承され、データ収集等に取り組んでいる。併せて、収集したデータに基づき課題等を整理した上で、より有益な就職支援に繋がるような改善・見直しを行うこととしている。 ①学内企業説明会参加企業（主要企業）への就職状況の確認 ②説明会等参加企業の情報整理（業種等）と学生の就職状況の分析 ③各イベント参加学生の情報整理（参加者数・所属・学年等）	進路支援委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	令和5年3月13日の進路支援委員会において、改善計画に掲げた各データについて確認した。今後は、当該データを適正に収集・整理し、継続的に蓄積することにより、説明会の在り方等について必要な見直しを行うこととした。
令和4年10月	【文学部】 点検項目の中で、当該部局の適切な委員会で確認を行ったことが読み取れるエビデンスの提出がなかったため、関係する委員会等の議事録の整備を徹底いただきたい。	「学位プログラム評価」における評価項目I-2の点検項目【ガイダンスの実施状況を確認する。】	(学位プログラム評価：F-4の同「改善計画」に記載のとおり)	文学部教務委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	(学位プログラム評価：F-4の同「備考」に記載のとおり)
令和4年10月	【文学部】 点検項目の中で、当該部局の適切な委員会で確認を行ったことが読み取れるエビデンスの提出がなかったため、関係する委員会等の議事録の整備を徹底いただきたい。	「学位プログラム評価」における評価項目I-3の点検項目【担任制等の実施状況を確認する。】	(学位プログラム評価：F-4の同「改善計画」に記載のとおり)	文学部教務委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	(学位プログラム評価：F-4の同「備考」に記載のとおり)
令和4年10月	【文学部】 点検項目の中で、当該部局の適切な委員会で確認を行ったことが読み取れるエビデンスの提出がなかったため、関係する委員会等の議事録の整備を徹底いただきたい。	「学位プログラム評価」における評価項目I-4の点検項目【基礎学力不足の学生に対する指導、助言、もしくはリメディアル教育の実施状況を確認する。】	(学位プログラム評価：F-4の同「改善計画」に記載のとおり)	文学部教務委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	(学位プログラム評価：F-4の同「備考」に記載のとおり)
令和4年10月	【文学部】 点検項目の中で、当該部局の適切な委員会で確認を行ったことが読み取れるエビデンスの提出がなかったため、関係する委員会等の議事録の整備を徹底いただきたい。	「学位プログラム評価」における評価項目I-5の点検項目【他学部の授業科目の履修の扱い状況を確認する。】	(学位プログラム評価：F-4の同「改善計画」に記載のとおり)	文学部教務委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	(学位プログラム評価：F-4の同「備考」に記載のとおり)
令和4年10月	【文学部】 点検項目の中で、当該部局の適切な委員会で確認を行ったことが読み取れるエビデンスの提出がなかったため、関係する委員会等の議事録の整備を徹底いただきたい。	「学位プログラム評価」における評価項目I-12の点検項目【インターンシップを除くキャリア教育の実施状況を確認する。】	(学位プログラム評価：F-4の同「改善計画」に記載のとおり)	文学部教務委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	(学位プログラム評価：F-4の同「備考」に記載のとおり)
令和4年10月	【文学部】 点検項目の中で、当該部局の適切な委員会で確認を行ったことが読み取れるエビデンスの提出がなかったため、関係する委員会等の議事録の整備を徹底いただきたい。	「学位プログラム評価」における評価項目I-14の点検項目【【教職課程】教職課程の学生に対する履修指導の実施状況を確認する。】	(学位プログラム評価：F-4の同「改善計画」に記載のとおり)	文学部教務委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	(学位プログラム評価：F-4の同「備考」に記載のとおり)
令和4年10月	【文学部】 点検項目の中で、当該部局の適切な委員会で確認を行ったことが読み取れるエビデンスの提出がなかったため、関係する委員会等の議事録の整備を徹底いただきたい。	「学位プログラム評価」における評価項目I-15の点検項目【【教職課程】教職課程の学生に対する進路指導の実施状況を確認する。】	(学位プログラム評価：F-4の同「改善計画」に記載のとおり)	文学部教務委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	(学位プログラム評価：F-4の同「備考」に記載のとおり)

改善を要する点			改善計画	計画の実施主体	計画の実施状況	備考
年月	内容	根拠				
令和4年10月	【教職総合センター】 履修カルテの活用状況を調査するなど、適切な履修指導体制について検討いただきたい。	「教職課程評価」における評価項目I-1の点検項目【教職課程の学生に対する履修指導の実施状況を確認する。】	<p>・令和4年12月2日開催の第4回教職総合センター教職運営委員会において、改善の提案を受け、対応について審議した結果、以下のように改善に向けて取り組むこととした。</p> <p>『教職実践演習』は、これまでの教職に関わる学びや実習の状況を自己評価し、自らの課題を見つけ、その解決を図ることを目的としている。「課題の発見」において、履修カルテは重要な役割をもつことから、その記入の確認は必須といえる。さらに、指導する教員はそれを確認した上で、課題設定が行われているかの確認が必要となることから、令和5年2月までに、各部署にて実施するシラバスチェックの際に『教職実践演習』の受講時に履修カルテの記入状況を確認する項目を盛り込むよう依頼し、履修カルテの活用状況の向上を図る。</p> <p>・令和5年度以降の履修カルテの活用状況については、事務にて入力状況一覧を出力し、空欄がある学生・教員については部局を通して学生・教員へ入力するよう促す。また、次年度以降継続して効果的に実施出来る方法を令和5年度中に本委員会にて検討する。</p>	教職総合センター教職運営委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	令和5年1月20日付にてセンター長から開放制学部長宛に教職実践演習のシラバスに履修カルテの記入状況を確認する項目を記載するよう依頼した。また、次年度以降の教職に関する進路指導体制資料の保管と提出を依頼した。さらに、履修カルテの入力状況が一覧で確認出来るようにシステムを作成し、対応した。 履修カルテの効果的な活用方法については令和5年度に継続して検討を予定している。
令和4年10月	【教職総合センター】 教職への就職に関するデータの収集と適切な進路指導体制について検討いただきたい。	「教職課程評価」における評価点検項目I-2の点検項目【教職課程の学生に対する進路指導の実施状況を確認する。】	<p>・令和4年12月2日開催の第4回教職総合センター教職運営委員会において、改善の提案を受け、対応について審議した結果、本年度はすでに教職への就職に対する進路指導は終了しているため、次年度に向けて以下のように改善に向けて取り組むこととした。</p> <p>①開放制学部に対して次年度の教職への進路指導体制（資料）の提出を令和5年2月までに依頼する。 これまでの教職に関する資料提供を開放制学部求めたところ、資料が保管されていなかったため、次年度から教職への進路指導に関する資料（1年次の入学ガイダンスにおける教職の履修指導、教育実習の事前指導・事後指導、教職に関する進路指導（学部委員や指導教員の個別指導を含む）の保管と年度末の提出を開放制学部依頼する。</p> <p>②教員採用試験に合格した学生に教職への就職に対する進路指導に関する調査を令和5年3月までに実施する。 教職への就職に対する進路指導をどのように受けたか、どの進路指導が役に立ったか、進路指導に対する意見等を求める。 （各学部でMoodleを利用して教員免許取得者や採用試験合格者にアンケートを記入してもらうなどの方法を検討する。）</p> <p>③②で調査した結果を基に学生のニーズを洗い出し、令和5年度中に開放制学部及び教育学部と連携し、地域連携・教職支援部門にて今後の進路指導体制について検討する。</p> <p>④教員採用試験に関わる職員の配置の検討を働きかける。 令和3年度採用試験合格者数158人。内訳：教育学部138人、文学部4人（中学3人、高校1人）、工学部1人（高校1人）、理学部15人（中学9人、高校6人）。令和3年度卒業生の入学時定員は、1,670人であり、うち医学部と薬学部の327人を除くと、1,343人（大学院進学者も含めて）が就職支援の対象となる。全体学生の11.8%が教職に就いていることを考えると、教員採用試験を支援する担当職員の配置の検討が必要であると考える。</p>	教職総合センター教職運営委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<p>①令和5年1月20日付けでセンター長から開放制学部長宛に次年度の教職進路指導体制資料の提出を依頼した。</p> <p>②令和5年1月27日に地域連携・教職支援部門会議を開催し、開放制学部学生へのアンケート調査内容及び実施を決定し、2月3日にMoodleにより開放制学部生へのアンケート調査を実施した（アンケート回答最終締切3月10日目標）</p> <p>③②で行った調査結果を基に令和5年度も継続して検討を行う。 教育学部厚生就職委員会に対して、教育学部学生支援相談室が開催している集合講義に開放制学部学生が受講出来るよう検討を依頼した。</p> <p>④令和4年12月14日に委員長が機構長に面会し、開放制学部の学生で教職を希望する学生をサポートする体制が大学全体で全く行われていない状況を改善するために、まずは教育学部の学生支援相談室を開放制学部の学生が利用できるように、学生相談支援員の増員等の予算措置を要望した。</p>
令和4年10月	【教職総合センター】 開放制学部のFD活動の改善のため、教職課程に特化したFD活動の実施を検討いただきたい。	「教職課程評価」における評価項目I-7の点検項目【教職課程に特化したFD・SDの実施状況を確認する。】	<p>令和4年12月2日開催の第4回教職総合センター教職運営委員会において、開放制学部開講の教職科目のシラバスチェック・授業改善のためのアンケート結果の分析・成績分布の分析および教職課程に特化したその他のFD活動の実施手順を策定した。なお、令和4年度については、シラバスチェック未実施の科目について、同委員会が確認を行い、改善が必要なシラバスについては次年度授業担当教員へのシラバス執筆依頼の際に（令和5年2月までに）改善を依頼する。（シラバスチェックについては次年度以降は部局で実施することとし、同委員会で行うのは今年度限りとする）</p> <p>教育学部で行われている教職課程に関するFD活動の中で、開放制学部の教員が参加できるものをリストアップし、令和5年度の教職課程に関して有意義な内容のFD活動を開放制学部の教員も参加できるように公開する方向で調整を行う。</p>	教職総合センター教職運営委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	シラバスチェック未実施の科目についてシラバスチェックを行い、改善箇所については当該教員に対して部局の教務担当を通じて改善を依頼した。 教育学部で行われる教職課程に関して有意義なFD活動が計画された際には、開放制学部の教員もZoom等で参加できるよう委員長から教育学部長へ依頼し、了承された。

## 令和5年度 改善実施状況報告書【 教育 】

推進責任者： 宇佐川 毅

改善を要する点			改善計画	計画の実施主体	計画の実施状況	備考
年月	内容	根拠				
令和4年10月	【教職総合センター】 同一名称の授業科目における成績評価の共通の理解を図るよう、教職課程における実施体制を検討いただきたい。	「教職課程評価」における評価項目F-3の点検項目【成績評価に関する共通の理解が構築されていることを確認していること。】	・令和4年12月2日開催の第4回教職総合センター教職運営委員会において、改善の提案を受け、対応について審議した結果、以下のように改善に向けて取り組むこととした。 ・複数の教員が担当する同一名の授業を複数クラスで開講する場合、成績評価を含めたシラバスの統一について「改善を要する点」として指摘があったことから、同一名の授業科目を担当する教員によるシラバス内容の検討会を開催し、その結果を令和5年2月末までに本委員会に報告することを依頼する。 検討会の結果を踏まえ、必要に応じてシラバスの共通化を依頼することとし、他の検討事項があった場合は本委員会にて令和5年度に審議を継続することとする。	教職総合センター教職運営委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	・令和5年12月に教職運営委員会委員長から、教職系の教員に対して該当学部担当教員へ成績評価を含めたシラバス統一について検討依頼し、令和6年2月にシラバスの成績評価を統一するとの報告があった。 教職運営委員会は、令和6年度シラバスの該当科目が修正されていることを確認した。
令和4年10月	【教職総合センター】 ・履修カルテの活用状況を調査するなど、適切な履修指導体制について検討いただきたい。	「教職課程評価」における評価項目I-1の点検項目【教職課程の学生に対する履修指導の実施状況を確認する。】	・令和4年12月2日開催の第4回教職総合センター教職運営委員会において、改善の提案を受け、対応について審議した結果、以下のように改善に向けて取り組むこととした。 『教職実践演習』は、これまでの教職に関わる学びや実習の状況を自己評価し、自らの課題を見つけ、その解決を図ることを目的としている。「課題の発見」において、履修カルテは重要な役割をもつことから、その記入の確認は必須といえる。さらに、指導する教員はそれを確認した上で、課題設定が行われているかの確認が必要となることから、令和5年2月までに、各局にて実施するシラバスチェックの際に『教職実践演習』の受講時に履修カルテの記入状況を確認する項目を盛り込むよう依頼し、履修カルテの活用状況の向上を図る。 ・令和5年度以降の履修カルテの活用状況については、事務にて入力状況一覧を出力し、空欄がある学生・教員については部局を通じて学生・教員へ入力するよう促す。また、次年度以降継続して効果的に実施出来る方法を令和5年度中に本委員会にて検討する。	教職総合センター教職運営委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	令和5年1月及び令和6年1月に教職総合センター長から、開放制学部長に履修カルテの周知徹底と教職実践演習シラバスに履修カルテの記入状況確認に係る項目を記載することを周知した。 また、管理者（事務担当者）が履修カルテの学生及び教員のコメント入力欄の状況が一覧で閲覧出来るようにした。（改修済み） さらに、学生がデータ入力を見落とさないように履修カルテの学生メニュー欄に入力期限を知らせる欄を設置し、対象者へ入力期限等を知らせるためのメール送信機能を搭載するという履修カルテシステムの改修を行った。 文・理・工学部の教職実践演習シラバスには、学修成果の振り返り（自己評価）の内容が記載されていること、演習の終わりには履修者自身が振り返り課題解決のポイントの把握、教師が持つ問題点等について記載されていることを確認した。
令和4年10月	【教職総合センター】 教職への就職に関するデータの収集と適切な進路指導体制について検討いただきたい。	「教職課程評価」における評価点検項目I-2の点検項目【教職課程の学生に対する進路指導の実施状況を確認する。】	・令和4年12月2日開催の第4回教職総合センター教職運営委員会において、改善の提案を受け、対応について審議した結果、本年度はすでに教職への就職に対する進路指導は終了しているため、次年度に向けて以下のように改善に向けて取り組むこととした。 ①開放制学部に対して次年度の教職への進路指導体制（資料）の提出を令和5年2月までに依頼する。 これまでの教職に関する資料提供を開放制学部に求めたところ、資料が保管されていなかったため、次年度から教職への進路指導に関する資料（1年次の入学ガイダンスにおける教職の履修指導、教育実習の事前指導・事後指導、教職に関する進路指導（学部委員や指導教員の個別指導を含む）の保管と年度末の提出を開放制学部）に依頼する。 ②教員採用試験に合格した学生に教職への就職に対する進路指導に関する調査を令和5年3月までに実施する。 教職への就職に対する進路指導をどのように受けたか、どの進路指導が役に立ったか、進路指導に対する意見等を求める。 （各学部でMoodleを利用して教員免許取得者や採用試験合格者にアンケートを記入してもらうなどの方法を検討する。）	教職総合センター教職運営委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済	本項目については、令和5年度に再度改善指摘があり、令和4年度の改善実施状況を踏まえ、改めて改善計画を立案し、計画のとおり改善を実施したため「対応済」と記載している。 （令和5年10月指摘事項における改善実施状況報告書「教職課程評価：I-2」の「改善計画」、「実施状況報告」、「備考」に記載のとおり）

③②で調査した結果を基に学生のニーズを洗い出し、令和5年度中に開放制学部及び教育学部と連携し、地域連携・教職支援部門にて今後の進路指導体制について検討する。

④教員採用試験に関わる職員の配置の検討を働きかける。

令和3年度採用試験合格者数158人。内訳：教育学部138人、文学部4人（中学3人、高校1人）、工学部1人（高校1人）、理学部15人（中学9人、高校6人）。令和3年度卒業生の入学時定員は、1,670人であり、うち医学部と薬学部の327人を除くと、1,343人（大学院進学者も含めて）が就職支援の対象となる。全体学生の11.8%が教職に就いていることを考えると、教員採用試験を支援する担当職員の配置の検討が必要であると考えます。

その他

( )